

2005年度 第5回 運営委員会議事録

日時：2006年1月21日(土) 9:30～14:00

場所：バーズ教育センター 第1会議室(104教室)

出席者：大谷運営委員長、吉田副運営委員長、加地総務担当運営委員、中山副総務担当運営委員、矢橋校長、三宅運営委員、辨木運営委員、ホーン運営委員、大平運営委員、田村領事、太田会計監査委員、村野事務長

1. 開会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・加地総務担当運営委員
2. 運営委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・大谷運営委員長
3. 報告・確認事項・協議事項
A) 学校の状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・矢橋校長

在籍者数の報告

1月現在383名となり年度当初と比較すると2名の増となっている。幼稚部が減少し、小学部が増加しているのは前回と同様。

主任会報告

1. 第8回(11月19日)

ブックフェアの反省と改善点

- ・時間帯、値段設定、図書委員の動き等、随所に良い点が見られた。
- ・中高生によるユニセフ募金やバザーの活躍が見られた。
- ・大人用の本もバラエティに富んでいた。
- ・ベークセール、バザーの売り場を再度検討したほうが良い。
- ・低学年と一緒に本を探してくれる補助の人がいてくれると嬉しい。

「書初め大会」のテーマ

変更学年 小3年(はと)小5(希望)小6(幸福)に変更

2学期終業式、3学期始業式について

退場時の混雑を緩和するため、退場の方法を変更した。

2. 第9回(12月10日)

書き初め大会・書き初め展実施要項についての確認。

話し方大会・弁論大会について

代表者の人数、先生方の役割分担を依頼。

3. その他

平成18年度クラス数と担任配置について

現在、生徒数の見込みが366名、保留14名となっている。特に幼稚部の人数が不安定だが、近年の人数を見ると2クラス編成が妥当と思われる。幼稚部から中学年1年までは各2クラス、小学部3年3クラス、中学部2年・3年、高等部は1クラスで設定。新年度は普通クラス20学級、新コース1学級となる予定。

カウンセラーは随時募集する。

「運営委員会承認」

認」

17年年度末、18年新年度の行事に関する依頼

卒園・卒業式、及び入園・入学式・父母総会等に関する前日準備と当日の協力依頼。

教職員との慰労懇親会等の予定と参加依頼。

年度末の不幸な出来事に関し皆様のご協力で乗り越えることができました。過日、ご主人がご挨拶に来校され、お子さん達も元気で日本の学校に通っているとのことでした。

3月に帰国の内示が出ましたので帰国の準備にかかった。後任の新校長は3月14日に赴任予定と伺っている。

B) 学級委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・三宅学級担当運営委員

第4回学級委員会が11月19日に開催され以下の協議を行った。

新年度委員選出について

1月14日にクラス選出についてをお願いを家庭数で配付。本日午後、各種当番作成のみ先行し、作成者立候補を受付け決定次第事務局に連絡をする。今後の選出に関し、流れと注意事項を確認し、選出を学級委員に委ねる。来年度免除者対象リストを事務局から学級委員に配付。

次回学級委員会は学年度末に反省会を兼ねた懇親会を行いたい。

図書当番・保健当番変更についての提案

現在、図書2名、保健3名の当番を割り当てているが、家庭数が減少しているため当番の回りが早くなっている。図書当番は朝、本の回収で忙しく、保健当番は季節により怪我などの人数に差が起きている。一時的な忙しさはあるが、図書当番との協力体制を敷きつつ新年度から2名で施行し様子を見ていきたい。保健室は今まで通り応急処置のみ、判断に迷うときは事務局から校医である病院に連絡をし指示を仰ぐが、原則は第一に保護者に連絡をとり責任を委ねる。教職員の当番免除に関しては、免除の当番を選択できるようにして欲しい。「運営委員会承認」

C) 幼稚部年中組について・・・・・・・・・・・・・・・・中山副総務担当運営委員

「もちつき大会」について

幼稚部年中組について 1月14日を締め切りとしたが10名の申込みを頂いた。

設立の条件であった15名に満たなかった為、新年度の設置は見送ることとする。

対象になっている子どもの数が減っているのか、広報の仕方に問題があったのか。今後の参考としたい。申込みを頂いた方々にはサークルとして設立が可能か反応を確かめてみる。「運営委員会承認」

もちつき大会について 1月14日幼稚部から小学部 2年まで実施。大勢の有志ボランティアの協力で行うことが出来大盛況であった。例年行われているが、学校行事ではなく学年行事として行っていた。子ども達も喜ぶので、今後は学校行事として組み込んでやる意義があると思うが。昨年度からマニュアルも作成し道具も寄付により学校の物がある。

結果：運営委員会として、学校行事とするのではなく幼稚部から小学部 2年の学年行事とし、運営委員会の行事行事担当委員が責任者となり協力する。「運営委員会承認」

D) 予算と実績見込みについて・・・・・・・・・・・・・・・・大内会計担当運営委員

過去五年間の統計を見ると毎年20名程度の減少が発生している。2005年度は例年に比べ転出者数が減少し、年平均生徒数が8名の減少となった。2006年度以降も平均減少20名と予測してみた。

2005年度の見込みについて

<収入の項目>

- ・ 授業料 予算編成時に予想していた生徒数の減少が抑制された。
- ・ 受取利息 金利の上昇により増加。
- ・ ジャパンフェスト 収益金は当初予算に組み込んでいなかった。

<支出の部>

- ・ 教師報酬 退職金、永年勤続表彰等と雇用者負担の税金増。

- ・ 保険・法務費 保険料の値上げによる支出増。
- ・ 教場借用費 教場借用費の据え置きが出来た。
- ・ カウンセラー・スクールドクター カウンセラー年度途中より不在のための支出が減少した。
- ・ 補修工事費 グラウンドへのスロープの補修。

2006年度の予算について

<収入の部>

- ・ 授業料 授業料は来年度据え置き。
- ・ 国庫補助金 教員報酬に対する補助金が削減される可能性がある。
- ・ 受取利息 金利の上昇による収入増を見込む。

<支出の部>

- ・ 商工会補助金 生徒数の減少を見込み補助金 4万ドルを依頼。
- ・ クラブ費・借用校への寄付金等の復活を予定。
- ・ 特別事業費の Educators to Japan Program の復活。
- ・ カウンセラーが不在だが、採用の可能性もあるので予算計上はしておく。

毎年20人の児童生徒が減少すると仮定し予算を組んでいくと期末繰越金がとりくずされていき、3年後には繰越金が年間総支出額の5割を割り込む。
次回運営委員会に最終の予算案を提案したい。

- E) 2006年度運営委員候補について・・・・・・・・・・・・・・・・加地総務担当運営委員推薦として、4名の方々のお名前を本日まで頂いているが、各担当の役職をそれぞれ打診し、次回運営委員会で最終決定する。
商工会からは商工会担当教育部長を推薦していただく。

F) その他

Educators to Japan Program 候補者の人選を借用校の校長，教頭先生に依頼する。
父母総会の資料について

2005年度活動報告の原稿を各担当運営委員に依頼。父母総会の席上で報告する。

原稿担当：

教務関係報告 矢橋校長、学級委員会報告 三宅運営委員、ジャパンフェスト・バザーの報告 吉田副運営委員長、図書委員会報告 辨木運営委員、オープンハウス報告 大平運営委員、クラブ活動報告・当番制度についての報告 中山副総務担当運営委員、運動会報告 ホーン運営委員、その他 事務局

次回運営委員会 2006年2月25日 9時30分

以上